

参加型有機認証システム(Participatory Guarantee Systems)をご存知ですか？

日本で「有機」と新商品のためにはJAS法に則る必要があり。これは有機の規定を明確にするまで消費者にとって購入の制度が、最大の受益者は実は不手流通や欧米などの大規模単作有機農家です。

これに対し参加型有機認証システム(PGS)は消費者が直接生産地を訪れ生産方法を確認することで二者認証に近いもの。究極の二者認証は「提携」で、直接なご近隣の生産者と消費者が「つながり」、地産地消の推進や小規模農家の育成にもよると考えられています。しかし欧米でもまだ始まったばかり。日本では岩手県栗石市の農業団体(オーガニック栗石)が取り組み始めている程度です。

喜多市では学校給食の地産地消への気運はありますが、使用率にとらわれがちで有機化までには至っていません。また地元産野菜の生産量も追いついていない現状で有機化を叫ぶにも前進はありません。そこで食の安全に関心のある保護者と、慣行農法ですが、給食に野菜を納入している地元と農家をつなぐ方法としてPGSという仕組みは面白いかなと思っています。直接ゆえに双方の希望と現状に即して前進するのは？ 地産地消が学校給食の有機化にもつながっていくといいかな？ と。

今年ふくしま有機ネットでは、給食に有機米を取り入れた千葉県いすみ市に視察に行く予定です。(11月ごろ?) ぜひご参加下さい。

世界のオーガニック 事情も知りた

タイ北部のチェンマイはオーガニック天国

東南アジアのタイは成長著しい国。もともと「食材が豊か」で農業も盛んなのだが、実はオーガニック食品を扱うお店が増えている! もしもしたら日本より買いたいですか?

たかぎ
行ってきました



コロナはたぶん
かかりません

Archives

ゆうきネット新聞をフル活用してね!



過去の新聞データをこちらから見る事ができます。(もちろん無料です) QRでよみこんでね!

ゆうきネット新聞では、福島、日本そして世界のオーガニック事情や食の課題についてイラストでわかりやすく解説(おまじない)をます。周りにヒトに農業のこととかシェアしたいけど、自分で説明するのはちょっと...なんて時はぜひWebのリンクとかデータを使ってみてね! この新聞を紙にするための寄付も受付中! ゆうちょ銀行 振替口座 02290-3-126364 特非福島県有機農業ネットワーク

1 おすすめ NO.1

JJ Market (ジイジイマーケット)

超・大規模なオーガニック朝市。

- POINT
- ① 保健省が主催。あんまりおもしろくない
 - ② 質が高く格安な食材
 - ③ 有機農家と会話できる!



JJ=Jing Jai=「誠実」の意味。無農薬・低農薬の農産物をはじめ、化学調味料を使わない惣菜がたばん!

2020年1月~タイはビザ免除の国に変わりました。たよ。だからマイバックは必須

タイに行ったら絶対行ってほしい! マーケット3選

Rimping

(リンピンスーパーマーケット) タイの成長著しいオーガニックスーパー

- POINT
- 5つのラベルが付いているとこ
- (例えば) グリーンラベル=100%オーガニック
 - ブルーラベル=無農薬
 - イエローラベル=低農薬



これはイエローラベルだから、低農薬のきゅうりなんだよ! マ、半値で買ってきたよ! しかもバナナの葉で包んであるの! かわいくない!

3 おすすめ ROYAL Project (ロイヤルプロジェクトショップ)

タイの前国王が始めた、農家を支援するプロジェクト。国王が、タイ北部で生活のためにアホを作る農民を見て「農業で経済的自立ができるように、と、栽培方法の伝授から販路まで整備したんだろ。アツイぞ!」



ふくしま有機ネットでは、会員・サポーターを募集しています。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください

発行元・福島県有機農業ネットワーク

Facebook Follow us on YouTube

〒964-0871 福島県二本柳市成田町1-511
TEL 0243-24-1795 / FAX 0243-24-1795
info@fukushima-organic.net / 0243-24-1795